

年間授業計画様式

都立多摩科学技術高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語)科目:(国語総合) 対象:(第1学年) 単位数:(4単位)

使用教科書:(国語総合改訂版〔第一学習社〕)

使用教材:(重要漢字コレクション2800、現代文単語、古文単語330、必携新明説漢文、完全マスター古典文法、完全マスター古典文法準拠ノート、基本の現代文1、新国語便覧)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
4月	(現) 鈴木孝夫『ものごとば』 (古) 歴史的仮名遣い・品詞・動詞の活用	(現文) ①評論の文章の流れをつかみ、筆者の主張や考えを理解させる。 ②筆者の論理的な思考方法を学び、自らの思考や視野を拡大させる。 ③これからの高校生活に思いをはせて、自分に引き寄せて読解させる。 (古文) ①歴史的仮名遣いや文法、語彙、発音など、古文を読解するための基礎的な規則を学ばせる。 ②活用や活用形について理解させ、文法上の知識をもたせる。	(現文) 評論文の流れや筆者の考えなどを理解し、論理的な思考方法を学ぶことができたか。また、自分の思考を拡大させ読解できたか。 (古文) 歴史的仮名遣いや文法など読解の基礎的規則を学ぶことができたか。また、活用形などの文法上の知識をもつことができたか。	10
5月	(現) 福岡伸一『ものごとば』 (古) 『宇治拾遺物語』「児のそら寝」・ 『竹取物語』「かぐや姫のおひたち」・ 動詞の活用・係り結び	(現文) ①評論の文章の流れをつかみ、筆者の思いや考えを理解させる。 ②筆者の論理的な思考方法を学び、自らの思考や視野を拡大させる。 ③これからの高校生活に思いをはせて、自分に引き寄せて読解させる。 (古文) ①平易で理解しやすい説話や中学校で学習した物語の続きを学ぶことによって、古文に対する親近感や、興味・関心を持たせる。 ②古語の意味、発音、用法や歴史的仮名遣いなどについて把握し、理解させる。 ③動詞の活用や活用形について理解させ、文法上の知識をもたせる。	(現文) 評論文の流れや筆者の考えなどを理解し、論理的な思考方法を学ぶことができたか。また、自分の思考を拡大させ読解し、要約することができたか。 (古文) 文章の内容を理解することができたか。また、活用形などの文法上の知識をもつことができ、興味関心を得たか。	16
6月	(現) 芥川龍之介『羅生門』 (古) 『伊勢物語』「芥川」・ 形容詞・形容動詞の活用・補助動詞・音便・ 係り結び	(現文) ①非日常的な小説の言語空間になじませ、独特の表現や巧みに読者を誘導する語り手法への関心を促す。 ②登場人物の行動や心理、状況を読み取るとともに、各場面の情景を思い描くことができるようにさせる。 ③原典との比較を通して、近代小説と古典文学とのつながりに関心をもたせる。 (古文) ①基本的な古語の意味を理解させる。 ②登場人物の心理・行動の描写へ目を配る必要性を気が付かせる。 ③本文に主語や助詞を補いながら、文章全体の理解や段落の意味を深めさせる。 ④形容詞・形容動詞の活用や活用形について理解させ、文法上の知識をもたせる。	(現文) 小説文の流れや作者の考えなどを理解し、登場人物の心情を学ぶことができたか。また、自分の思考を拡大させ読解することができたか。 (古文) 文章の内容を理解することができたか。また、活用形などの文法上の知識をもつことができ、興味関心を得たか。	20
7月	(漢) 訓読・再読文字・故事成語	(漢文) ①漢文の基本的な規則や、注意すべき文字について理解させる。 ②故事成語を通して、漢文の日本文化への影響を理解させ、漢文に興味・関心をもたせる。	(漢文) 漢文の文法や読解の基礎的規則を学ぶことができたか。また、漢文の日本文化への影響を理解し、興味・関心をもつことができたか。	6

年間授業計画様式

都立多摩科学技術高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語)科目:(国語総合) 対象:(第1学年) 単位数:(4単位)

使用教科書:(国語総合改訂版〔第一学習社〕)

使用教材:(重要漢字コレクション2800、現代文単語、古文単語330、必携新明説漢文、完全マスター古典文法、完全マスター古典文法準拠ノート、基本の現代文1、新国語便覧)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
9月	(現) 鷲田清一『自分の身体』 (古) 『伊勢物語』『東下り』・ 助動詞の活用・和歌の修辞	(現文) ①自分の身体は自分にとって「像」(イメージ)でしかないという筆者の主張と、その根拠になっていることを理解させる。 ②当たり前の中に潜む不条理を発見し、それを乗り越えるための知見を開こうとする評論の未熟に気づかせる。 (古文) ①すでに学習した基本的な古語の意味、助動詞を使い、口語訳をする力を付けさせる。 ②和歌の修辞技法を理解させる。 ③各作品の愛のかたちと、それに応じた心の動きを読み取らせる。 ④本文に主語や助詞を補いながら、文章全体の理解や段落の意味を深めさせる。	(現文) 評論文の流れや筆者の考えなどを理解し、論理的な思考方法を学ぶことができたか。また、メディアの本質を理解することができたか。 (古文) 敬語表現、修辞技法の基礎的規則を学ぶことができたか。また、活用形などの文法上の知識ももつことができ、興味関心を得たか。	12
10月	(現) 福岡伸一『世界は常に更新されている』 (漢) 『蛇足』再読文字 (古) 『土佐日記』『門出』『帰京』 ・助動詞の活用	(現文) ①評論の文章の流れをつかみ、筆者の思いや考えを理解させる。 ②筆者の論理的な思考方法を学び、自らの思考や視野を拡大させる。 ③これからの高校生活に思いをはせて、自分に引き寄せて読解させる。 (漢文) 故事成語を通して、再読文字や漢文の基礎について理解させる。 (古文) ①すでに学習した基礎力を使い口語訳をさせ、古文の読解力を養わせる。 ②作者のものの見方・考え方についての理解させる。 ③和文と和漢混交文との文体上の違いとその叙述内容との関連に注意させる。 ④日本の古典を代表する作品であるので、暗記できるまでに朗読させ親しませる。	(現文) 評論文の流れや筆者の主張などを理解し、論理的な思考方法を学ぶことができたか。また、像について理解することができたか。 (漢文) 漢文の文法や読解の基礎的規則を学ぶことができたか。 (古文) 既に学んだ知識を使い、内容の理解をすることができたか。また、作品の主題をつかむことができたか。	20
11月	(現) 池内了『「文化」としての科学』 (古) 『土佐日記』『門出』『帰京』 ・助動詞の活用	(現文) ①具体例と、一般化される主張の関係を把握させる。 ②「文化」としての科学と、「文明」の基礎となる技術との相違を理解し、「科学の技術か」の意味と問題点を理解させる。 ③「技術的合理性」とは何かを理解させ、科学と技術のあるべき関係について考えさせる。 (古文) ①「土佐日記」の成立と作品の時代背景について学習させる。 ②これまで学んできた文法や用法を使って、現代語に訳させる。 ③平安時代の日記が「わざと事実をぼかしている(虚構性)」を理解させる。	(現文) 評論文の流れや筆者の主張などを理解し、論理的な思考方法を学ぶことができたか。また、科学と技術の相違について理解することができたか。 (古文) 既に学んだ知識を使い、内容の理解をすることができたか。また、作品の主題をつかむことができたか。	18
12月	(漢) 『完璧』・句法	(漢文) 故事成語を通して、再読文字や用字、漢文の基礎、句法について理解させる。	(漢文) 漢文の文法や読解の基礎的規則を学ぶことができたか。また、漢文の日本文化への影響を理解し、興味・関心をもつことができたか。	6

年間授業計画様式

都立多摩科学技術高等学校 令和3年度 年間授業計画

教科:(国語)科目:(国語総合) 対象:(第1学年) 単位数:(4単位)

使用教科書:(国語総合改訂版〔第一学習社〕)

使用教材:(重要漢字コレクション2800、現代文単語、古文単語330、必携新明説漢文、完全マスター古典文法、完全マスター古典文法準拠ノート、基本の現代文1、新国語便覧)

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
1月	(現) 上田紀行『グローバリズムの「遠近感」』 (古) 敬語	(現文) ①これまで学んできた読解力を使い、評論文の基本的読解法を確実に身につけさせる。 ②戦争やテロの問題から、グローバリズムや資本主義へと深まりを見せる論の流れを押さえさせる。 ③本文外の知識や常識を補う必要があることを確認させ、説明できるようにさせて語彙力、思考力を養う。 (古文) ①敬語の基礎について理解させる。 ②これまで学んできた文法や用法を使って、現代語訳に訳させる。	(現文) 評論文の流れや筆者の考えなどを理解し、論理的な思考方法を学ぶことができたか。また、自分の思考を拡大させ読解できたか。 (古文) 敬語の基礎のついて理解できたか。	12
2月	(現) 村上春樹『鏡』 (古) 『竹取物語』 「かぐや姫の昇天」	(現文) ①登場人物の行動や心理を読み取るとともに、各場面の状況を思い描くようにさせる。 ②回想する自分と回想される自分によって構成される一人称小説の特徴を理解し、過去の出来事が語り手にどのように意味づけられているかを考えさせる。 ③「鏡」を媒介とした主人公の内面的な問題を読み取らせる。 (古文) ①これまで学んできた文法や用法を使って現代語に訳させ、応用力をつけさせる。	(現文) 小説文の流れや作者の考えなどを理解し、登場人物の心情を学ぶことができたか。また、自分の思考を拡大することができたか。 (古文) 既に学んだ知識を使い、内容の理解をすることができたか。また、作品の成立や時代背景について学習することができたか。	14
3月	(漢) 『唐詩』・『論語』	(漢文) ①中国文学の中心となる唐詩を読み味わい、漢文の読解力や鑑賞力を高める。 ②唐代の代表的な詩人について、基本的な知識を学ばせる。 ③各詩を通して、古代中国のものの考え方や見方を具体的に考えさせる。 ④論語の学習を通じて儒家思想の概略をとらえさせる。	(漢文) ・唐詩を通して漢文の読解力や鑑賞力が身についたか。また、詩人の基本的な知識を学び、古代中国の考え方を身につけることができたか。 ・論語を通して漢文の読解力が身についたか。また、孔子の思想について基本的な知識を学び、古代中国の考え方を身につけることができたか。	6